

地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な実例をご紹介します

地方創生への取り組み

現在、各地方自治体は、国の「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく「地方創生」の取り組みを推進しています。

FFGでは地域金融機関に期待される役割をグループ一体となって発揮していくため、各地方自治体と連携を強化し、各種施策や取り組みに積極的に参画していきます。



宗像市とふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）及び福岡銀行は、2017年12月に「地域活性化に向けた連携と協力に関する協定書」を締結し、宗像市の地方創生を実現するため、FFG及び福岡銀行が持つ幅広い顧客網、金融や経営面に関するノウハウ・ツールなど、両者の資源や能力な

どを相互に有効活用し、地域活性化に向けた取り組みを実施しています。

その具体的な取り組みの1つとして、FFGビジネスコンサルティングでは、株式会社マクアケと連携し、購入型クラウドファンディング（以下、CF）を活用した中小企業の新商品・新サービス開発を支援し

ています（宗像市が「宗像応援eあいてむ事業」として実施）。この事業は昨年度から続く取り組みで、今年度は6社（昨年度は4社）がユニークで他には無い商品の開発に取り組んでいます。FFGビジネスコンサルティングでは、商品開発の企画支援から、CF導入の支援を実施しており、CF終了後の販路拡大支援についても取り組む予定です。

FFGではこれからも地方創生に資する取り組みを積極的に続けてまいります。

（担当…FFGビジネスコンサルティング 下田）

購入型クラウドファンディングとは、世にまだない新製品を生み出すための資金をネットを通じて不特定多数の人たちから集め、資金を出した人へ、出来上がった製品や権利を返す仕組み。（株）マクアケ資料より



宗像市の定例記者会見での集合写真



2019年度購入型クラウドファンディング「宗像応援あいてむ」

③ とまとのまつお

まるでフルーツの甘さ！宗像の農家「とまとのまつお」のトマトジュースを商品化へ。

実施時期:2019年11月29日～2020年1月末



② (株)春日丸水産

世界遺産「神宿の島」より心をこめて。最高に脂がのった「極鮮干物」を食卓へ。

実施時期:2019年12月初旬～2020年1月末



① UMEYA BRAINERY (株)

全てのチョコ好きへ。4種の酵母菌発酵でチョコレートは変わる。未体験の味をお届け！

実施時期:2019年12月5日～2020年1月下旬



⑥ Rococo

宗像のテンちゃんが、お話の世界をとびだして、あなたに会いにやってくる！

実施時期:2019年11月15日～2020年1月末



⑤ (株)ミノル

お父さんの居場所を確保しました。オンリーラック(冷蔵庫用缶収納ボックス)。

実施時期:2019年12月12日～2020年2月中旬



④ まごころ厨房居酒屋DICE

宗像産果実を使った家飲みをちょっとおしゃれにするシロップ。

実施時期:2019年11月28日～2019年12月末



詳細は、「マクアケ」のホームページをご覧ください。<https://www.makuake.com> 応援宜しくお願い致します。

2019年10月12日(土)に、英彦山登山道の森林再生を目的とした『英彦山植樹祭』を開催しました。また、登山アプリを提供する株式会社ヤマップ(以下、ヤマップ)の公式イベント『YAMAPPファンミーティング』との共同開催となりました。

本イベントでは、参加者が苗木を持って山に登り、山頂付近の森林に自らの手で植樹する体験や英彦山を歩いてきた修験者の足跡をたどる、山伏修行体験ツアーを実施しました。そして、植樹・山伏修行体験を終えてたどり着いた山頂では、英彦山神宮の関係者や添田町役場の職員等によって、猪汁が振る舞われ、参加者に大変喜んでいただきました。

今回このイベントを英彦山で実施することになった背景には、英彦

添田町
SOEDA TOWN



英彦山神宮に集う参加者の皆様

山神宮の『霊山にふさわしい森林を後世に引き継ぐために、森林を再生し、かつての修験道の聖地と言われていた英彦山に戻りたい』という切実な想いがありました。英彦山は福岡県田川郡添田町と大分県中津市山国町にまたがる山で、日本二百名山に数えられています。古くは日本三大修験道場の一つであり、多くの山伏の修行が盛んに行われ、霊山として栄えた山です。また、江戸時代には山頂付近に植林がなされ、樹齢400年を超える木々が立ち並んでいました。

しかし、1991年に発生した台風によって壊滅的な被害を受け、以降も度重なる豪雨の影響もあり、木々はほとんど倒れてしまい、森林がなくなったことで山頂付近の崩落も進んでいる状況でした。

その悩みを解決すべく、福岡銀行から、森林再生に関わる活動費用についてクラウドファンディングを活用した資金調達のご提案させていただきました。その後は、『マクアケ』と協業し、『英彦山森林再生プロジェクト』と題し、本プロジェクトに賛同していただける支援者を募りました。また、ヤマップにもこのプロジェクトの趣旨にご賛同いただき、全面的にご協力いただけることとなりました。

今回ご支援いただいた方々への返礼品として、神職と一緒に体験する特別山伏修行体験やヤマップとのコラボグッズ（ピンバッジ・Tシャツ等）を準備しました。サイトに掲載して2週間程で目標額に達し、最終的には目標額を大幅に超えるご支援をいただくことができました。

した。

イベント当日は、100名強の方々に植樹体験をしていただき、森林保全について考えると同時に、英彦山の再生に向けて一緒に取り組むことができました。今後も、地域経済の活性化や課題解決に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。

（担当：福岡銀行公務金融法人部 鶴原）



イベントの安全祈願の様子



実際の山伏修行に使われた道を歩く様子



植樹祭受付風景



植樹した杉、楓の苗木



英彦山神宮参道



奉幣殿にて（右から3番目 江口勝福岡県副知事、6番目 寺西明男添田町長）